

整理番号	38-2	事務事業名	議会だより発行事業		作成部署	議会事務局	電話	内線734
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	阿知良信夫	課長職名	小菅敏博	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	S58	根拠法令等	北広島市議会広報発行に関する条例					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	本会議及び常任委員会での議案の質疑、一般質問、陳情・請願の審議など市議会活動の市民周知を図る。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	いきいきとした交流と連携のまち	(第3章)
	節	開かれた市政	(第5節)
	施策	情報公開	(第4施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	市民	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	定例会等での一般質問や代表質問の答弁及び各議案の審議の状況など、市議会の活動概要を市民に周知する。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	議員による議会広報編集委員会を組織し、議員自ら編集を行っており、議会事務局職員はその事務補助を行っている。年4回発行、1回当たり約23,000部印刷し、各家庭に新聞折込み及び新聞未購読世帯へは郵送を行ってきた。新聞未購読世帯には、平成16年度より郵送からシルバー人材センターによる宅配に変更し、経費節減を図った。
		17年度	同上

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	3,132	2,858	3,207	3,207
	合計	3,132	2,858	3,207	3,207
人件費(概算)	人数(年間)	0.10	0.10	0.10	0.10
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	900	900	900	900
総事業費 +	4,032	3,758	4,107	4,107	

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	広報編集委員会開催回数	9回	13回	12回	12回
	発行回数	4回	4回	4回	4回
	発行部数	91,200部	91,200部	89,800部	89,800部
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	(読書率)	約7割			
	アンケート調査15年度実施				
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	1部発行当たりコスト	44円	41円	46円	46円
	(総事業費 ÷ 発行部数)				

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	石狩管内各市議会も議会だよりを発行している。
---------------------------------	------------------------

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	条例の規定に基づき発行している	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	定例会・臨時会等市議会の活動を市民に周知する目的は、妥当と考える。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	議会活動の市民周知を目的として議会だよりを発行してきたが、平成16年度から市ホームページに定例会の議事録を登載しており、インターネットを利用することによりいつでも家庭内で、議会活動の情報を入手できるようになった。	ホームページでの議事録公開により、議会だよりが果たすべき役割が薄れてきているため、発行回数減や廃刊等の検討が必要。
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	昭和58年の発刊以来、20年余りが経過しており、市議会の広報として市民に定着しているものとする。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	市議会議員による議会広報編集委員会を組織、自主制作(議員の視点)し、印刷等は社会福祉法人に委託しており、効率性は妥当である。	デザイン会社や印刷会社等の連携により、紙面のビジュアル化や内容の充実を図ることなどが考えられる。

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法等を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	表紙の作成の大幅な見直し、さらに特集を組むなど、編集には創意工夫を重ねてきているところである。現状のまま継続する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	定例会等での一般質問や代表質問の答弁及び各議案の審議の状況などは、市ホームページの市議会会議録検索で見られるようになっているが、利用者が限られており、議会だよりについては継続すべきである。今後、過去の議会だよりも簡単に見られるようにするためのホームページへの掲載や、さらに議会が主体となった発行や発信についても検討すべきと考える。